

滋賀中央信用金庫の環境への取組みについて

琵琶湖とそれを囲む山々の恵みを受ける自然豊かな滋賀県を活動基盤とする当金庫は、地域環境を守るため、環境改善を展開しています。

全店で電力、紙資源削減運動に取り組むなど、省エネ・省資源活動を推進し、地域に役立つ信用金庫として環境と金融を融合した活動に取り組んでまいります。

【環境方針】



〈基本理念〉

滋賀中央信用金庫は、地域金融機関として『地域を大切にし、発展的未来を共に創造する』『人々の「幸福」かつ「安定」した生活設計に寄与する』『常に積極的で、最良のサービスを提供する』という経営理念の基、国内最大の湖である琵琶湖を擁し、独特の豊かな自然を形成しているすばらしい環境を基盤とする信用金庫として、事業活動を通じて、環境負荷の低減に努め、環境にやさしい信用金庫をめざして、以下のとおり「基本方針」を定め、役職員一人一人が継続的に環境保全活動に取り組めます。

〈基本方針〉

1. 環境関連の法規制、および当金庫が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 環境保全のための目的・目標を設定し、その達成を目指すとともに必要な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
3. 省資源・省エネルギーの推進と、環境汚染の予防に努めるとともに環境保全に役立つ金融商品の開発ならびに金融サービスの提供を通じて、自然環境保全への取組みを地域とともに行います。
4. 全役職員が常に環境に配慮し行動することを目指し、環境に対する意識の向上を図ります。
5. この環境方針は、全役職員に周知するとともに一般にも公表します。

【クールビズ・ウォームビズの取組みについて】



夏季期間はオフィス等の室温を調整し、ノー上着、ノーネクタイのクールビズを実施しています。冬季期間においても、室温にあわせた服装をするウォームビズを実施、年間を通し節電に取り組んでいます。

【エコ印刷への取組み】

ディスクロージャー誌、事業報告書等の印刷は、エコ印刷を採用しています。

用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー

適切に管理された森林の木材を利用した FSC®認証用紙

インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）

印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

製造、廃棄に発生するCO₂をカーボンオフセット済

【環境に配慮した店舗づくり】

店舗の改築、新築する際には、環境に配慮した省エネ設備を積極的に採り入れた店舗づくりをしています。

平成30年11月12日にオープンしました大津支店には、太陽光発電システム（ソーラーパネル）の設置、お客様をお迎えするフロアーには熱効率反映空調を採用、全館の照明にLEDライトを導入しています。



【地域での清掃活動】

地域の美化に貢献すべく各店が定期的に清掃活動を行っています。

○店舗周辺の清掃活動

早朝より役職員が、店舗周辺の缶・ゴミ拾い、街路樹の落ち葉拾いを行ない、街の美化に貢献しています。

○ひこねエコフォスター

毎月1回早朝より役職員が、彦根城外堀沿いのゴミ拾いを行ない、国宝彦根城周辺の美化に貢献しています。

